京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久翻一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三三番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

雜報

●燕號漢江溯航

龍山警察署所屬警備艇第一燕號漢江上流試航は曩に一應施行せしも當時暴風雨の爲め充分其目的を達する能はざりしが以て這回の出水を好機とし客月廿五日溯江せしめたるに途中諸種の困難を排し江原道楊亭に至り同月二十日無事歸着せり其の狀況左の如しと云ふ

▲七月廿五日　龍山出發の際は增水一丈一尺五寸なりしを以て七時間にして楊平郡德沼の下流約五丁の個所に着せしが同所は著しく勾配を有する急流にして機關力のみを以ては航行不能なるを以て人夫三人を雇ひ之れを曳き漸く通過をなせり進んで楊平郡南終面平川洞の下流二里の地點に到れば河水分岐して二流となる其東流を航行すること如何ならずして急湍あり急流なるも水深きを以て敢て航行に困難を覺ねず

▲七月廿六日　同郡兩首に達したるに同所は甚しき急流にして到底航進するを得ざるを以て緩流の箇所を擇み通過を試みたるに偶々淺瀨に乗り上げしも辛ふじて之を切り拔け大灘里に着す同所は河の中央に大岩あり爲めに急流激溜して前進を許さず朝鮮人夫三名を雇ひ二時間を費し漸く通過するを得たり進んで揚根を經て仰德里の下流五六丁の箇所に到れば勾配彌々急にして二個の大急流をなす土地鮮人の言に依れば漢江流域中第一の難所なりと云ふ到底溯江の見込なきを以て機關の運轉を中止し人夫六人をして之を曳かしめ四時間を費し辛くも通過し得たり

▲七月廿七日　驪州郡車山面九尾洞の上流に至れば河水分岐して三條となり西側及中央の二流は水淺くして航行に便ならず東側の一流水深くして曲流多く且つ水勢急なるを以て人夫四名を雇ひ之を曳かしめ三時間にして無事通過せり同郡梨浦下里の上流約一里の間水勢急にして溯航意の如くならず約三時間を要したり驪州の下流一里半の地點に約二十餘間の淺瀨あり航行不能なるを以て乗組員一同は下船し船を押上げ漸く通過し得たり

▲七月廿八日　同郡近東面岩洞の下流約二十丁の個所に急流あるも水深きを以て進行に何等差支なし進んで原州郡楊亭里に至るに又一大急流あり且つ河中に大石散在せるを以て航行尤も困難なり此時恰も積載の揮發油は缺乏を告げんとするに至れるを以て溯航を止め歸途に就く本艇は速力平均一時間に付溯江力二浬下江八浬にして今回の溯江約三十一里なり而も還航の航行は上流に於て尚は五尺の增水なりしを以て如上の記錄を遺し得たるも平水の際は到底斯る成績を望むべからざるを認む本艇通過の際の如き沿岸村落の老若男女は先きを爭ひ物珍らしく見物せり

●本年の大連材木界

本年は昨年に比し建築工事尠なきを以て木材の需要昨年の比にあらず既に北海材の入津したる者十一隻（内杣角九隻挽材二隻）此陸揚木材數量約十万石價格約三十五万圓に上り更に入津契約物五隻此價格約十五萬圓なるが昨年北海材の輸入七十万圓に比すれば二十萬圓の減少にして昨年約十萬圓の入荷を見たる哈爾賓材は本年は輸入皆無となり十四五万圓の輸入を見たる鴨綠江材は今日迄の入津僅かに二万圓に過ぎず最早本年中別に大工事起るべしと思はれず此上本年中輸入の必要なかるべく昨年に比し約四十萬圓の輸入減少なりと且つ本年は產地高なるに拘はらず競爭販賣の結果昨年に比し甚しく利薄なりと營業者は語り居れりと

●平安北道近事

朝鮮にては本月六日より打續きたる強雨にて各河川は何れも氾濫し沿岸の田畝は多少の損害を受け彼の村井農場の如きは本年の米作は毫末の收穫をも得る能はざる程なるも其他の一般地方は平年作以上の場所も多く平均すれば毫も悲觀すべき理由なきが如し鴨綠江にては平水十五尺なるに最も降雨劇しかりし二十一、二日の交は三十四尺六寸に增水し新義州の各官廳は何れも浸水を受け甚だしきに至つては窓より瀨津潮の如き流水浸入せしものありしが一般に及ぼせし損害は比較的に些く饑民への炊出米は前後合せて八石を超ゑざりき鴨綠江の架橋工事は大いに進捗し既に中央部なる開閉式の架橋のみを餘せしに其の材料は出水のため水中深く沈下し之を引上ぐるにしても又新たに米國より取寄するとしても些くとも約二ヶ月位は遲延すべく來る十一月三日安奉線の改築工事と共に竣成開通の筈なりしものが來年一月に入らざれば開通する能はざる事となれり併し損害額は格別のことなし尚は平安北道の特產物として最も好績を擧げつゝあるは柞蠶事業にして昨年以來我が道廳にて之れを奬勵せしより其の產額劇增し本年は義州のみにても約八千萬石の產出を見るに至り數多の柞蠶組合も設立せられたれば將來之れを一億萬石以上に引上ぐること決して困難ならず予が東上の用向も其の主たる所は該柞蠶製糸の需給に關し京都及び東京地方を調査するがためなり云々（神谷道事務官談）

●製糸廠費補助

興鳳道署理李樹恩氏は安東縣一帶柞蠶の產出年々頗る多額に上り東省出輸品優位を占め居れるも從來の如く民間個々の事業としては經費に限りあるを以て到底將來に發展の見込み尠なきに依り先頭紳商と協議して當地に官民合同の柞蠶工廠を設け製糸器械を備へて之れが一大改良を爲すべく決議し其の經費として二十万圓の補助方を總督府へ稟請する筈有りたるに趙總督は各司道を會して協議せる結果今回愈々右要請通り補助することに決定したりと聞く

●木浦民團水道債

第二回水道債成立後に於ける木浦民團水道債は第一回分十二萬圓は利率八朱十五ヶ年賦四十二年の借入れにして第二回即ち今回の二萬千圓は利率八朱十三ヶ年賦本年の借入れなれば償還終了期は何れも今後十三ヶ年目にして第一回分は毎年一萬五千三百餘圓第二回分は同じく二千七百餘圓宛を償還し來る五十七年には全部完了の筈

外事一束

△紐育　に於ける東郷大將歡迎の前景氣非常也新聞社は海上の大將に無線電信を送り返電を特筆せんと例に依て御馳走攻須く努力奮闘身を委し歸れ

△墨國　革命政府獵官運動の爲動搖す首府の外人は米國の干渉を俟ど殺々乎

△巴爾　幹半島の形勢改善し土兒其マリゾリ叛徒間協約成立確實となれりと

△波斯　の英露折衝は近く辛じて納りしもの今又復徵税隊長任命及北波斯の

△英士　官任命に關し露國は非公式なれども抗議を出す調停一掃の策無きか

△露に　水火夫の罷業あり今又船渠人夫罷業す倫敦海運家專仲裁會之を解決

△乃木　大將伯林倶樂部に乾盃し曰く東西文明縮進す日本國命に疾走せよと

△佛米　總括的仲裁條約三日巴里に調印さるルーター由來虛報多し之斗りは

△實な　らん獨英米仲裁條約同時に調印すと國際上に於ける仲裁條約今や大

△に利　目す可し平和論者欣喜せん但軍備縮少を提言するは稍早計也知觀望

△上院　保守黨非幹部派少數なりと見るか否認案上院に回附するに決し急

△進黨　勇躍し大勢略帝の援助なしに無事通過を見んか憲法上の大事件も數

△月間　不倦不撓覺に眞實の審議にて自他服躍するなく解決の緒に就く流石

△墨總　理請暇す澳紙曰く景氣に中り且外人侮あり皇族内閣を組織するを否

召使れ初　第百二十四回　黑法師

一期大難、お察はハッと驚きつ再、び飄然と身を變して、元の庭へ降りたれど、此時は早や後れたり、彼方にも雪洞、此方にも提燈、その光り長刀の刃に映りて、恐しく物々しく。

「曲者ぢや〳〵、油斷して不覺なさるな」と呶れたる聲に呼ぶは、思ひ掛けなき澤野なり。

お察は什麼とすべき手術も盡きて、夢の如く突立ちぬ、お君の詞に不圖乗せられて、この恐しき大罪を犯さんとしたるが、今思へば彼等が計に陷りたるにてはあらざりしか、我身の門限に後れて、羽翼無き身を打ち恨ち居たるを、澤野一派の者早くも認めて、お君を玉に使ひたるにてはあるまじき歟、あはれ仕無したり、殘念や、父上御大病、今日のお命も知れぬといふに、一目逢ひたさが胸に滿ちて、お屋形掟の嚴かなるを忘れたるは過失なりき、事情は什麼ともあれ、お屋形掟を破る事不忠不義の第一とあるに心付かず、只管孝道をのみ思ひ詰めたる身の落度を何とかせん。

我身は是非なき成行と諦らめて、彼等が手に入るべきも、この累旦那樣の御身に及ぶことあるまじき歟、徐に明日の御門開きを待ちてあらば、一夜の後にはお父樣御見舞ひにも參り得べきを、一たび彼人達手に入らば、永刧末代浮む瀨も無き深きお咎めを蒙るかも知れじ、さすれば孝が不孝となり、心切が不心切となる、人間一歩の間違は時に千萬里の相違を見る、後悔臍を嚙むとも詮無けれど、只恨めしきは此心なり。

お察が忙然と佇む姿を、彼方此方の雪洞は早くも認めて。

「曲者は彼所ぢや、油斷して取り逃し後日お咎め受けまいぞ」

口々に云ひ合ひつゝ長刀片手に玉襷したる五六人の女中共、ぐるりとお察を取り卷きぬ、中には今日お花畑に憂き目を見せたるもありき、澤野相生の片腕と頼まれて、力自慢伎倆自慢のお端女もありき。

「や、此方……」と一人は雪洞をお察の前へ突き付けて「お察ぢやの」

「眞にお察ぢや、お察がお築地を乘り越ゑて、何處へやら逃れ出やうとした、眞に曲事、こりやその身一人の智慧でもあるまい、背後にはお道どのも付かせられる、一應吟味、お廣敷お役人の手に渡すまいか」

三人寄れば姦き女の囀喃々たり、お察は覺悟の上、惡びれたる樣も見せず

「私逃げ隱れは致しませぬ、父大病の知らせを得、一刻も早く逢ひたさ、夜中お屋形掟を破つて、お築地を乘り越ゑんとした大罪、いかやうともお處刑なされませ、只皆さまへ折入つてお願ひ申し上げ置きたいは、旦那樣へも内分、日頃大恩を打ち忘れ斯樣の曲事致したるは面目次第もない儀、必ずお沙汰させまする晦、旦那樣命令など思ひも寄らぬ惡言、私一身を粉にも碎かせお道樣へお障り無いやう、只管願ひ上げるでござります」と調も淀まず云ひ立てぬ。

「をゝ〳〵」と女中共も口々に罵り會ひ「それでも殊勝な心掛け、召使といふだけにお道その庇立て、その詞に免じ宥し遣りたきは山々なれど、お上掟を破るからは罪人、私の計ひにも罷り難ねる、さ、尋常に手を廻しや」

「お抵抗は致しませぬ、卑しうは勤めてあれど親共は主持、兄弟立派にござりまするで、縲紲の恥辱を受くるのは忍びませぬ、此ましにお引き立て、地獄の底へ伴はるゝも厭ふ所ござりませぬ」と言葉鋭く云ひ放つ。

東京電報

▲海軍擴張豫算　海軍省にて明年度豫算に繰入れんとする所謂海軍擴張に就ては當局者は極めて秘密に附し居れるが總額は約三億六千萬圓にして四十五年度より五十年度に至り向ふ六ヶ年間の繼續事業たらしむべしと

▲朝鮮煙草會社成立　淺田正文、横瀬高一郎氏等に依り企畫されたる朝鮮煙草株式會社は其の筋より許可の內命に接したるを以て今回株式募集を發表し二十五日限り證據金拂込締切たるが滿株に達する有樣なるが一層確實を期する爲め發起人株を二百株に制限し殘一萬株をば廣く一般より應募する事に決定したり

▲東海道大被害　今回の暴風雨被害に就き東海道方面は天龍川橋梁百八十間全部流失し東方堤防欠潰し濁流の爲め一面海となり流失家屋三十戶其他人畜死傷多數なる模樣なるも交通杜絶の爲め其詳細判明せず木曾川附近に山崩あり倒壞人家四戶、流失家屋六、其他名古屋附近は阿武川堤防欠潰の爲め東北部の地點は全部浸水し浸水家屋七千七百二十九戶の多きを算したるは三十年來なき所なり

▲東宮北海行啓　皇太子殿下は來る十八日午前七時三十分上野驛發九月十四日迄二十八日間の豫定にて北海道に行啓の旨仰出されたり

▲特種部落開發策　內務省調査に係る特種部落は總數四千三百餘人口七十九万九千に達し全國總人口の大約七分に相當する多數なり此が開發策に就き考究中なり

▲桂首相歸京　桂首相六日夜輕井澤別莊より歸京せり

▲信州松本市大水害　四日朝以來豪雨の爲め松本市內を流るゝ大門川及び市街南部を流るゝ鈴川氾濫して堤防決潰數個所に達し松本市全部は濁流漲り五日未明に至り雨止みしも依然減水せず淺きも三尺深きは胚を沒する所あり、高等女學校始め全市七千餘戶は恰も湖水中にあるが如く大混亂を極む溺死者二名を出し又新橋茅ヶ崎間に大地辷あり人家全滅の慘狀甚だしく救助を爲すべき消防組は自個一身危險なるを以て應援を爲さず四十聯隊も亦危險の爲め助くる能はざるの有樣なり

▲平沼政友會に入る　平沼專藏氏を初め神奈川縣々參事會員市參事會員縣會議員は政友會に入會したり

▲朝香宮妃御着帶　朝香宮妃允子內親王殿下は御姙娠九ヶ月に渡らせらるを以て今八日着帶式を行はせられたり

▲横濱と牧師團　横濱官民有志は朝鮮牧師團の爲めに昨八日盛んなる歡迎會を開けり

▲牧師團退京　滯京中なりし朝鮮牧師團一行七日午前八時十分新橋發車退京せり見送り盛んなりき

▲樺太神社竣工　官幣大社樺太神社にては此の程造營竣工したるを以て御靈代御奉納の爲め掌典園池實純氏を勅使として差遣せらる

雜報

●來年度豫算增收科目　來年度の豫算は目下度支部豫算決算課にて調査中にて來月下旬又は十月初旬迄には終了の上荒井度支部長官携帶東上の筈なるが收入豫算の內增收の見込あるものは關稅を第一とし次は專賣局及通信局等にして關稅は本年度豫算に計上したる總高三百廿万三千圓なるも本年一月より六月迄上半期分の收入狀況を見るに百九十四萬八千圓なる故に此趨勢を以てする時は約七十萬圓の增收を見るのみならず安奉線の開通も近き將來にある事なれば該方面の關稅も增收を見るに至らん次に專賣局に於ては人蔘の收入一千三百六十斤にて此收入約十萬圓の豫定なれども來年度は三千二百斤を獲て二十三万九千圓を收入し得るの豫定なり此又收入豫算の一部たるべく其他通信局の增收も貯金及郵便電信の增加に伴れて自然の增收を見る事を得べきに付以上三項は來年度豫算上增收として計上せらるべしといふ

●普通教育機關計畫成就　總督府は本年度より全道各郡に漏れなく朝鮮人の普通教育機關たる公立指定普通學校を設置する事とし本年度は先づ百校を新設する方針にて將來各道より報告を徵取し住民の密度位置等に付て詳細調査の上適當と認めたる場合は直ちに認可を與へ來りしが此の程豫定計畫たる指定學校既に百校に達したるを以て夏期休暇後目下當地に於て講習中の新任敎監赴任早々九月より開校する事となりたり尙は前記指定學校以外の各道公立普通學校にして本年四月より七月末日まで設立の認可を與へたるもの三十三校にして此の種の學校は經費の都合上本年若くは明年に涉りて開校する筈なり尙は公立指定普通學校中本年五月より六月に涉り數校開校したるものあるが開校日尙は淺きを以て其の成績の如何を云爲するを得されど一般に優良なりと云ふ

●東拓金融部現況　東拓會社金融部現今の貸出狀況を聞くに總貸出高五十八万圓にして內朝鮮人百三十九口此の金額二十一万八千圓母國人四十七口此の金額三十六萬二千圓なるが鮮人側にあつては多くは農事資金にして開城砂里院鳳山邊の農民多數を占め母國人側にあつては群山大邱太田邊のもの多く昨今の申込者は手續未了のものとも併せて百五十五口金額百三十三萬圓にして過半は朝鮮人なるが貸付期限は長期のものにて二十五年の規定なるも多くは三年乃至五年にして利子は相手のもの〻事業如何により七分より一割乃至一割二分を課し居れりと

●移入清酒と醬油　朝鮮に移入せらるゝ酒及び醬油は母國に於て戾稅の恩典に預り朝鮮に於ても僅かに酒は八步醬油は五步の關稅を課せるのみなれば極めて廉價に移入せられ其れだけ內地釀造家の利益を圖られつゝあれども猶移入額の增加せざるは幾分運賃等の關係もあることならむが主として朝鮮に於ける內地人の釀造業の發達に職由するもの〻如く之等內地人釀造業に對しても政府は之を奬勵するの方針にて地方にては酒造高五石に對し一圓を課稅するのみにて民團區域內の釀造業者には全然無稅となしをれり今最近三ヶ年に於ける清酒及び醬油の移入高を示せば左の如し因に昨年朝鮮に於ける清酒の造石數は約二万石にて比年增加の傾向を呈しつゝあり（某當局談）（表中價額圓位清酒數量石位醬油數量斤位）

	數量	價額
清酒		
四十一年	三五、〇〇七	七〇〇、四七〇
四十二年	三八、六九五	七五九、二〇七
四十三年	三七、九九二	七三五、六〇七
醬油		
四十一年	二、七一七、三四二	一三九、〇〇〇
四十二年	二、九五五、九四五	一四八、六六八
四十三年	二、七六一、一三三	一四〇、六六五

●朝鮮海トロール漁業　朝鮮海に於けるトロール漁業の許可區域は過般發布されたるが右許可區域內にて自由にトロール漁業をなし得可き樣考ふるものあるも當局者の語る處によれば右指定區域內に於てトロール漁業を行ふ事に關し出願し得るも當局者は右區域內の沿岸に於ても殆んど許可せざる方針の由なれば朝鮮海の沿岸に於てはトロール漁はなし能はざるものと見て大差なからんとの事なり

●定例長官會議　八日午前九時より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め倉富、石塚、荒井、大屋、池田、宇佐美、小松の各長官菊池長官代理俵副總裁兒玉會計局長秋山參事官列席政務の打合せを爲し正午散會したり

●取調局の移轉　總督府の增築廳舍略ぼ竣工し農商工部其他近々該廳舍に移轉する筈なるが目下貞洞にある取調局は農商工部の跡に移轉すべしと云ふ

●漁業實習成績　京畿道廳にては管內沿岸に於ける漁業の發展と其漁獲法の改良を企圖し曩に當局技手を出張巡回せしめ江華島仁川南陽等の各地に於て二隻の漁船を以て延繩鮟鱇網等の漁方を實習したるが何れも鮮人漁夫多數乘込み漁獲の實況と其の漁獲高の多きを目擊し大に感動したる如く近々夫々我漁業法に見習はんとするに至りしと云ふ尙其の實習當日に於ける漁獲物は無代にて鮮人に配付したれば一般に漁業實習を歡迎するに至れりと云ふ

●七月中の京城出入品價格　七月中に於ける京城出入品左の如し（京城稅關調）

輸出及移出之部（圓位）

牛皮	三、一六八	其他諸品	三、六四五
合計	六、八一六		

輸入及移入之部（圓位）

小麥粉	三、八三五	果實	五、一七八
鹹魚	三〇四	罐壜詰食物	二、五〇六
砂糖	一八、五九二	清酒	一〇、五九三
絹布	二、七三二	交織布	五二一
靴履物	九、二三五	紙	三、八二八
諸文具	六、四四五	書籍雜誌	七、六五三
熱鐵	二、三七四	鐵筒管	九三二
鐵釘	二一	鐵鍋	三七三
麥酒	一七、七二九	諸機械類	七、八三四
酒類	一、七〇五	石油	二
煙草	一五、三三七	陶磁器	三、四〇四
蠟燭	三三五	木材板	八三七
綿類	一、三八一	繩叺莚	一
綿織糸	五、二四四	生金巾	一六、二五〇
晒金巾	一三九	家具類	二、三七〇
天竺布	四三五	木製品	二、三九六
綿繻子	四七	洋傘	三二六
日本木綿	七、〇四六	其他諸品	一八一、五七九
麻布	四、二七九	小包郵便物	四、二七九
毛織物	四、二七九		
合計	五二七、七七六		

備考　晒金巾には晒シーチングを含む生金巾には生シーチングを含む

●京城民團の財產　京城民團最近に於ける財產目錄は土地宅地に於て七町九反九畝二十一步此の價格十九万八千百八十三圓五十八錢畑地に於て一町〇反二畝〇七步價格六千百三十四圓六十四錢建物に於て三十棟建坪四千百四十坪七合二夕此の價格二十四萬九千四百九十圓二十九錢勸業債券二枚（額面二十圓）價格四十圓、貯蓄債券二枚（額面五圓）十圓現金二千九百十六圓九十六錢なるが民團債としては東拓金融部に十三萬餘圓ある由因に前記現金高は現今（昨日迄）のところにて幾分增加し居れりといふ

●京城水道の本修理審議　京城水道は過般再三の破損によりて其水源地附近の鐵管に幾分脆弱の恐れある事を確められたるも其の破損個所に對しては充分なる應急修理をなしたれば今後斷水する如き事あらざるべきも此際根本的に危險場所を修理するの必要あり當局者にては夫々完全なる設計をなしたるも經費の關係あり且總督府にても京城在住民一同に係る大問題なるを以て目下愼重に審議中なりと云ふ

●人蔘產額增收　開城　人蔘が韓國政府の時代に於ては惡政の結果として漸く其の產額を減少し殆んど廢滅に歸せんとしつゝありし折柄我政治の施行せられし以來人蔘の培養も至大の奬勵法を講じたるら來頗る好成績を表はし爾三年の內には好財源として賑はし得らるゝに至れり而して本年は產額の最も少なき歲にて僅に一千三百六十斤の豫定にて此收入一斤八十二圓替へとして十萬餘圓なるが來度は三千二百斤二十三萬九千圓となり四十六年は四千九百斤三十六萬八千圓四十七年度は一萬八千一百斤百四十九萬圓四十八年度は四萬二千六百斤三百五十萬となり以下追年此狀況にて生產を得べしと云ふ

●降雨と人蔘の生育　先日來の降雨に依りて開城人蔘の生育狀況に付き當局者が調査したる大要を聞くに傾斜の地勢にある蔘圃は毫も雨害を認めず却て雨前に於ける旱害を救濟し濕氣のため肥養分の吸收を促進し生育を助成したるの利多しと云ふ尤も園地の平坦にして排水の不良なる蔘圃に於ては多少の雨害を認めたるものありしも蔘圃の多くは傾斜地にして是等は寡少の被害に比して蔘圃一般の生育は甚だ良好なりと認めたりと但し今後の天候にして尙降雨の續くことあるか又は炎暑の連日に涉るが如き事あらば秋季の落葉を早むることありと云ふ

●七月中の獸疫　去る七月中に於ける獸疫は生牛の發病斃死せしもの全道に八十六頭狂犬病の發生し撲殺せしもの十五頭なりと云ふ

●仁川民會開催　仁川民團にては十日午後七時より民會を開催し稻田議長辭任の件小學校改築の件其他二三件を附議すべしと云ふ

●仁川商議役員會　已報の如く仁川商業會議所にては七日午後三時半より役員會開催副會頭辭任の件を協議せしに一應奧田會頭より留任を勸告すべく決して散會せり

●廣州郡共濟事業　京畿道廣州郡九川面にては本年四五月頃より諸物價騰貴して細民の困厄甚だ非常なりしに鑑み幸麥作の豐穰なりしを機として面民協議の上凶作等の場合細民の困厄を共濟する目的を以て每年春秋二回收穫の際米及麥を醵出して面長保管の下に倉庫に格納し出穀の時は郡守の許可を受くる事に規約を定めたりと云ふ

●蠣養殖の好望　永宗島附近の沿岸に養殖せし蠣は爾來一ヶ月餘に過ぎざるも發育の成績良好にして生長著しきものありと云ふ尙此好成績なるに伴れて永宗島附近の住民も其養殖を計畫するもの多しと云ふ

●司法官の異動　兼て噂ありたる司法官の異動は八日の官報を以て發表されたるが平壤地方裁判所判事依田弘氏は海州地方裁判所部長に海州地方裁判所判事八幡祭氏は平壤地方裁判所判事に京城地方裁判所判事長野一郞氏は海州地方裁判所判事に京城區裁判所判事喜頭兵一氏は京城地方裁判所判事に平壤地方裁判所判事天野康虎氏は京城區裁判所判事に咸興區裁判所判事平山勘次氏は咸興地方裁判所判事に咸興地方裁判所判事多賀谷熊雙氏は咸興區裁判所判事に淸津區裁判所判事池田敬氏は鏡城區裁判所判事に鏡城區裁判所判事笠原良保氏は鴻山區裁判所判事に補せられたり

●東大門外螟虫發生　東大門外の水田へ螟虫發生し其被害甚だ多き由農民より屆出たるに付京畿道廳にては技手を派し調査せしめ其驅除を行ひつゝあり

●昨年米作實收高　農商工部の調査に係る昨四十三年中朝鮮全道に於ける米作付反別は八十萬一千八百七十五町步にして此の實收高八百十三万五千六百八十六石なるが之れを前年に比すれば作付反別に於て八萬九千九百五十七町步即ち一割二分六厘の增加にして其の實收高六十七萬七百七十石即ち九分一厘の增加を示せるが一昨四十二年は挿秧期降雨少なく爲めに植付の時期を失したる地方多く就中水田多き全羅南道及慶尙南道に於ては一旦植付したるものも旱魃の爲め枯死せるもの尠なからず昨四十三年は挿秧季に於て適度の降雨あり從つて用水潤澤にして挿秧充分に行はれしも地方に依つては實收高の之れに伴はざるものありしが這は挿秧後風水害又は病虫害ありしに依るものなりと

●昨年大豆實收高　昨四十三年大豆作付反別は三十萬五千百九十八町步此の實收高百八十一萬四千八百九十石にして之れを前年に比するに作付反別に於て二萬五千百八町步即ち八分九厘の增加にして此の實收高二十八萬一千八百六十三石即ち一割八分九厘の增加を示せるが昨四十二年作付反別の增加は大豆輸出の增加に伴ふ結果にして其の實收高の激增せるは主として作付反別の增加に依るが平安北道に於ける作柄前年に比し著しく良好なりしは其の一因なり

●明石總長歸任　寺內總督見送りの歸途馬山及三浪津其他沿線各地を視察中なりし明石警務總長は八日朝南大門驛着歸任したり

●吉原副總裁の輕快　總督府醫院に入院中なる吉原東拓副總裁は昨今頓に輕快に赴き四五日を經ば退院すべしと云ふ

●藤原氏の東上　藤原度支部書記官は七日午後十時四十分の列車にて東上したるが今回開催の韓國銀行第四回定期總會へ總督府を代表して列席する爲なりと

●日本大學校友會　在京城日本大學校友會は七日午後七時より白水樓に於て校友荒川五郎氏の歡迎會を兼ね校友會を開催したり出席者三十餘名にして校友を代表し幹事木尾虎之助氏の歡迎の辭に次て荒川氏の挨拶終つて宴を張り餘興には筑前琵琶藝妓手踊其他數番の餘興あり主客歡を盡して散會したるは十一時也と

●韓銀貨幣發行高週報　七月三十日より八月五日に至る韓國銀行券發行高左の如し

發行平均高	二二、五二五、八二九
內	
正貨準備平均高	七、七八〇、三四七
保證準備平均高	一四、七四五、四八二

●咸南道の鞋製造奬勵　咸鏡南道定平郡にては同地憲兵分遣所發起して邑民に草鞋製造奬勵會を設立せしが七月十一日より廿日迄に會員が製造して事務所に納付したるもの百五十餘足に達したるが何れ製品は販賣の上郵便貯金として會員間萬一の場合の救濟に充つる筈なりと云ふ

●土地臺帳の調製　臨時土地調查局にては其事業として目下朝鮮に於ける各地の土地調查及測量に從事中なるが進步の成績頗る良好にて多分本年十一月頃より右調查測量の結果に基き土地台帳を調製するに至るべしと云ふ

●咸南北靑郡內畑作枯死　咸鏡南道北靑郡大陽面南浦里及松島里の畑地約八十五日耕の稗、黍、大麥等は五月中旬より漸次枯死するに至り收穫皆無の狀態なるが原因は昨年潮水浸水せし爲めなるべしと

●釜山貸金狀況　格別變化なく相當の需要は常に絕へざるもの〻如し

●訂正　前號紙上「京城最近商況」と題せる記事中「農家の爲に海產物麻布石油の類需要減し價格稍々下落したるも」とある二十八字を削り「鮮人間は」より「一般」に續くものなるに付訂正す

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

公人私人

▲服部新（農總所技師）　七日平壤より入京天眞樓へ

▲宗像十郎（同）　同上

仁川港出入船舶

▲彰州丸　九日大阪より入港

▲京城手形交換高▼

	枚數	金高
八月八日	五八九	一六六、〇四一、四四〇

▲治外法權▼

英米及び獨米仲裁條約の調印も愈出來たようだ、サテ此次はドコとドコとの仲裁條約が調印になるか▲今や噂に上つて居るのは米獨仲裁條約と日露同盟とだが、ロウ出來たところで關係者のドッチにも益なかるべく、ツマリ噂は單に噂として立消になるのがオチであらう▲一體仲裁條約なるものは膨脹のトマッた老成國には必要だが、之れから驥足を延ばツサと云ふ新進の强國には不必要なものだ、ナニが扨我帝國はまだ仲裁條約にタヨル程には老ひない▲只だイッでも困りヌイて居るのは金の無い事で、ヤレ北進の南進のとカラ噪ぎをしても、一向噪ぎ甲斐のせぬのもツマりは貧乏な爲だ▲我帝國が一等國中に在つて最も貧乏なのは隱れない事實だ、獨り一等國中で許らでなく二等三等の諸國に比しても貧乏なことは隱れなき事實だ、見玉へ半島の經營など、法令澤山の成績不良、ツマリはソレもコレも金の無い爲だ▲若し假に英吉利か米國かが半島經營の任に當つたとしたらドウする、三朱か四朱の金で域內到る處へ鐵道を敷いて仕舞ふ、ソウして同樣低利の金を以て必要なる灌漑工事を續てヤッて仕舞ふ―武斷政治忍ぶべし法令澤山堪ゆべし、只だ忍ぶべからず堪ゆべからざるは、半島の貧乏が移輸入の過超に因つて、益其程度を高め行くことだ▲東京からの郵便は不着、電報は延着、而してソレもコレも東海道水害の爲だとは困まつた譯で、今の日本の文明では到底水害に打勝つことは出來ぬものと見ゆる▲過日本紙は社說を以て南大門停車場擴張改築の必要を說いたが、鐵道長官の大屋も同意見と見ゑて、目下右に關し切りに研究中だとの事だ▲大屋と云へば同人の煙草好きは非常なもの、ソレが健康に害せんかと、心配する夫人や親逹には禁煙を誓ひ、極內證で玄關番の書生から大和山櫻の一二本を貰ひ隱して吸ふまではよいが、時々吸殼を目附役の娘に見付けられ、トウさんアナタはとヤラれる時はデーシマッたなど殘念そうに種々の言譯を試みるソウだ。

多情多恨

京城藝妓の半生 掬翠樓の繁春(一)

素人風の温和作りが呼物となつて覇を中旬に張して居る彼れは大阪は南區○○町辻喜八と云ふ人の長女で本名をジユウと申す、辻ジユウ——何うも不意氣な名ではないか當人は何うして〜ナカ〜意氣なものである、名は躰を現はすと云ふの語は此の妓には通用しない語である、本年正に二十五歳、十五歳にして南地の何處から出た [illegible]

運漕業者の山村君

[illegible] 十八歳の五月に落籍 [illegible] 四十二年の二月日那へ別れて [illegible] 三月下旬に渡鮮 [illegible] 鐵道技師 [illegible] 谷口君 [illegible]

仲居さんの好い樣に

[illegible]

居候ふあり浮世はナカ〜面白いもん [illegible] られ〜て踏んで御座らと云ふ心中立てに繁春とて人一倍情の深い女なればナンデ粗末に思ひましようや一生懸命の後生大切に守つて居る——心算だが

膝を枕に寢轉んだ谷口君の頭髮を見て聊か無情を感ずる

次第で仲居が運ぶ盃洗の中のチヨコの鳴る音も思ひなしでか寂滅爲樂を響く樣な心地がするので氣が滅入る、此れではならぬと氣を取り直しては試るが何うも面白くない、其所で種々勘考して醫者に見て貰つた所が「何うも少々營養不良である」と來た「三度の食事は缺かさず頂いて居るんですが」と不審すると醫者殿の曰く「モ少し澤山は不可ませんが [illegible] 上げ」と繁春澄然と [illegible] 惜しい哉此の名醫の名 [illegible]

●武士の老父の切腹

▽其子の犯罪を愧ぢて

[illegible] 其子の犯罪を愧ぢて [illegible] に耽り遂に世人の [illegible] 罪を犯し其の筋に逮 [illegible] る實父は祖先は勿論 [illegible] 自殺し遺族は悲慘 [illegible] 事件を報ぜんに窃 [illegible] 本郡山鹿町千百二十 [illegible] 男(二十)にして本年五 [illegible] 時の出來心より犯し [illegible] たるは畢竟被告が意思薄弱なり然し本件に付ては被告の實父は其の爲め切腹し遺族は路途に迷ひ悲慘に陷り居るは當職が取調べたるに事實明白にして其の爲め被告が改悛の狀あるも認めらる可く若し被告が斯る事情知り乍ら改悛せざりしとせば法の許す限り極刑に處す可きも改悛の狀あるを以て懲役三月にして刑の執行猶豫あらん事を求むと論告あるや被告は玉の如き涙を流し居たるが判事は即座に懲役三月に言渡し三年間執行猶豫の恩典を與へられ野田檢事は更らに檢事廷に於て將來に付嚴重に訓戒せられたり

●殺人犯人の逮捕

▽牛を奪て蝎甫を身受す

去月三十一日仁川府田反面道峴の東方防築谷に於ける殺人犯人は仁川署の小池、朴、成の三刑事探偵の結果去五日仁川牛角洞に於て嫌疑者と目すべきものを逮捕し本署に引致嚴重取調べを爲したる處遂に該犯人なる事自白に及びたり此奴は原籍京畿道廣州郡五浦面外谷里五統四戸李建永(三九)とて三年以前郷里を出奔し行衛不明の者なりしに犯行の前日突然歸郷し自分の妻の兄水原郡南面增巨洞一統李長烈(四七)の許に至り久濶を謝し且つ自分は目下龍山にて酒幕を營み居るも不景氣の爲め面白からざるより一層郷里に引上げんとの覺悟なれば家財道具類一切運搬すべき馱牛二頭借りに來りしなればとて兄に說きたれば兄は直ちに同意し他より二頭の馱牛を借り來り尙ほ牛方一人水原郡南谷面丹丘里一統一戸崔鎭元(三九)を付し三十一日龍山差して出立し前記防築谷に來るや日は已に暮れけるに李は同處より仁川街道に入らんとせしかば崔は其方角は龍山に非ず仁川街道にて名たゝる險要の道路にしてまして夜です淋しき處なれば其方へは行かずと云ひしかば李は元より腹に一物を抱き居るより忽ち其場に於て崔を組伏せ荷繩を以て全身を縛し咽喉を締て絶息せしめ仕濟したりと該牛二頭を牽き仁川に至り龍山町二丁目富田巳之吉方へ賣飛し其の金を以て蝎甫の朴姓女を落籍し牛角洞に借家し巫山戯散らして居る處を難なく捕縛せられ尙餘罪ある見込みにて目下野村警部の手にて嚴重取調中

●安明根等控訴審 第二

一審判決に服せず控訴したる安明根外十五名の第二審は來る廿三日京城控訴院刑事部大法廷に於て總督判長山口 [illegible] 辯人數名なりと又た梁起鐸外七名の保安法違反事件の控訴者金道熙外七名の第二審は同日前記判官の係りにて深澤檢事立會辯護人は木尾大久保の兩辯護十外數名なりと

●光州の火災

全羅南道光州にては本月六日午前一時頃光州邑内西門附近の内地人雜貨商店より出火し同三時過ぎ鎭火したるが此火災に店員内地人三名燒死し一名負傷せりと云ふ損害は僅に七百圓に過ぎざるも燒死者等あり當局にては原因調査中なりとの事なり

●蝎甫ご喧嘩を買う

熊本縣人當時南部小龍洞鮮人宿止宿士方職赤星藤作(二六)は七日午後十一時半頃南部路洞百四統三戸蝎甫金彩玉(二三)を敵娼に遊興するに先立ち福岡縣人當時大和町一丁目居住猪藤伊作が金彩玉と同衾中室内に押し入り暴行を加へ等して南部署に突き出され拘留五日に即決

●絹上靴を盜む

京城御成町川本準作方雇人福岡縣人秋吉淺吉(三〇)は去る一日午後五時南大門外御成町茶谷一二方にて絹上靴を窃取せしより南部署に引致取調中

●判決

既報上出七平の文書偽造行使罪は懲役一年▲平野勝吉の詐欺窃盜罪は懲役四月に處せられたり

平民文庫

▲或人子僧を捉ねて六日附發行の京城日報を示し且つ曰く「茶目、惡戲が過ぎて累を他に及ぼしたり、以來氣を注けないと打ん撲るぞ」と小僧曰く「撲られる迄靜然として居る小僧でないから事固はチツトモ恐ろしくない、併し「惡戲」とは聞捨てならず、何が惡戲か」或人の曰く「平民文庫に意見を陳べたと書いてあるぞ證左は歴然たりたぞ」小僧セヽラ笑つて曰く「平民文庫は一名平民倶樂部と云ふ元來が意見を陳ぶる所なりと知らずや此の齋擔漢奴」其人曰く「デモ京城日報の一話一言子は惡いと云つてる」小僧心に謂へらく此奴少々ドヂだ哩と、暫めて掛つて曰く「獵夫は鐵砲玉を愛し、禽獸は之れを惡む、姦は警官に惱れ、奸は正を邪とす、其の欲する所を異にするが爲めなり、家に子女あり隣家の花を手折る隣人併見て之れを父爺の使嗾に出でたりとなして怒鳴り込む、斯の如きは唯り自ら其陋を偽くるもの、況んやだねわれ樂さん何處の所が惡いと云ふのか知れないんですもの、ねわれ [illegible] 合に四丁目の所が賣されると云々の投書は僻み根性からの捏造なりと認めるから沒(保)▲京城監獄署の看守連は毎年課長へ暑中見舞を贈るのだ相で本年も第三課長の妻君に代九圓のもの主人公へ十八圓の品物を贈つた昔から監獄は地獄の一丁目とか云ふ金次第での昇給沙汰ア、厭だ〜(無名氏)▲警察を無視せる古市町長谷川○○大惡人の不法行爲左に一、韓人の墓地を自分所有地に編入すること數百坪なること一、道路の廣さを狹め我地を廣めしこと一、韓人の所有地を取込脅迫的侵害せしこと(局内者)▲薩摩隼人の玩物たる薩摩琵琶の達人久木田重直氏來京旭町一丁目安藤病院の隣に於て敎授する由薩摩琵琶愛好諸君に通告す(隼人)▲僕と同一の傭人は大風呂敷のみ擴げ週り勤務中制服の儘夜半女(妻か)と同伴本町邊りを遊歩し或は自宅に歸り早朝川勤知らぬ顔の半兵衛をきめ込み居れりアンナ勤務振りにて近々昇進するを得たら何で間がいーんでしよう(一官吏)

▲コック見習入用 十五六歳位の男子至急入用委細面談希望者はソンタクホテルに來談あれ(其の主人)

●演藝だより

▲壽座 好人氣を以て打ち續けたる木村猛夫の一行も愈々九日限り一先當地を打揚げ平壤歌舞伎座の招ぎに應じ同地にて十日間興行し他地の招ぎは斷つて再び當地に引返しての初日開場は本月末なるべし九日の代り狂言は「人の親」全入場なるが此の劇こうは一行得意の演し物なりと云ふ重なる役割左の如し 中澤合嬢芳子(君子)岩田濱五郎(宮士井)會社長中澤(寺田)中澤柳子(稲澤)松原藤平(木村)

京城花柳評判記(二)

(理屈家)成程、只今頭取のお話に依つて、自ら今日集會した主旨も明瞭した次第である。總て一事一物當に之れに對して極めて嚴正な批判を加へ、始終鞭撻を加へて行く者が無くては發展も向上もない譯だ。幼稚にして而も俗臭 [illegible] である。

(反抗家)幼稚と俗臭は由來京城の名物だ。昔世に一個の花柳巷のみ然らんやだ。花柳界の幼稚俗臭を云々するよりは先づ社會の組織から改造する必要がある。

(皮肉家)社會の改造よりは全然地圖の上から京城を消して了ふ方が早そうだ

(頭取)大層れ話が硬くなりました樣ですが、うれでは評判記の主意にも反く譯ですから、今日の處はその社會の方は丸止めに願つて花柳の方へ取り掛つて頂きましよう。

(通客喜兵衛)三馬子の「辰巳婦言」以來花柳の方はとんと御無沙汰勝だが、人あつて京城の花柳界も近頃大分江戸前に化したからチヨツピリ覗いて見さつしを、飛んだ罪切者に誘はれて下地は好きなり一膳味はつて見たが鹽梅乙でねエのう。先づ花月掬翠清華亭、續いて松葉亭井門なんぞが、京城での料理店だろうだが何れも奥床しい趣がねエ

花月が繼ぎはぎの燒死場にひよろ長いポプラを廻らした處は料理屋と言ふより

高利貸の別莊と判じた方が通用がいゝ。**掬翠**は誰れが見ても

本願寺の兄弟分だ。時々二階の欄干へびろびろの襟の搔寄を干し並べた處は今樣の吉田御殿と言ふ趣きだ。

清華亭の温突仕立は大に乙がつた積りだらうが、ばいつちいのう。玄關のかゝりなんぞは宛然に兩國の

松旭齋天一が舊宅と言ふ無氣味な面影がある。

松葉は何れも近頃の建築らしいと、揃ひも揃つた同じ樣なものだ。どつちかに智恵があつたらちつとは茶掛つた考案も出ようが、造へたものだ。**井門**は

不乙の極といふものをさりとは大體京城の料理屋は庭本に金を費けねのが解せねね、何れも二階から南山と北韓山を我物顔に展望させて濟まそうと言ふ心掛けだが、そんな物は御國樓の二階からも目に出る位だ。座敷の意氣はもとより料理屋の庭と言ふものゝ趣をうまくするもんだが、奴等がまた洒の計りが庭ちやアねえ、二坪の處に本賤と井戸側が置いてあろうが、大本の根方に逃げ石燈籠を据ゑ樣か、南天に水が遍つて居ようがそれ茶屋の庭はそこ